

情 報 提 供 資 料

令和8年8月6日(木)

日 高 市

教育部 生涯学習課 生涯学習担当

Tel042-989-2111 内線 5533

課長 上田 延洋

担当者職・氏名 主査・渡辺 将

第 35 回大学公開講座 日高ライブラリーカレッジを開講します

日 時 9月5日・19日、10月3日・17日、11月7日・21日の土曜日（全6回）
午後1時30分から

場 所 日高市生涯学習センター 視聴覚室（日高市大字鹿山370番地20）
※工事のため駐車台数に制限があります。なるべく公共交通機関または
乗り合わせでご来場ください。

人 数 100人（申し込み順）

講座内容等 別紙のとおり

費 用 2,000円（全6回）

申し込み 電子申請または担当窓口・各公民館・市立図書館に備え付けている申請書
を記入し、直接担当・各公民館・市立図書館へ

第35回 大学公開講座 日高ライブラリーカレッジ

< 学 習 プ ロ グ ラ ム >

※都合により、テーマや講師などが変更になる場合があります

日 時 ・ 会 場	テ ー マ / 講 師 (敬 称 略)	講 義 内 容
第 1 回	開講式 講義開始前	現代の日本では、十分に食べているようでも必要な栄養素が不足している「低栄養」が幅広い世代で見られます。低栄養は、疲れやすさや体調不良、様々な病気とも深く関わっています。本講義では、なぜ低栄養が起こるのかを分かりやすく解説し、人生100年時代を健やかに過ごすための新しい栄養学の視点を紹介します。
9月5日(土) 13:30~16:30 生涯学習センター 視聴覚室	食と健康の科学～人生100年時代の 新しい栄養学の視点～ 元立教大学教授 松山 伸一	
	オリエンテーション 講義終了後	
第 2 回	楽しさの“向こう側”～名作ミュージカルに みる社会と生き方～ 慶應義塾大学非常勤講師 長屋 晃一	俳優たちが歌って踊るミュージカル。アメリカで生まれたこのエンターテインメントは世界中で人々を魅了しています。しかし、それはただ楽しいだけでしょうか。大衆に訴える芸術だからこそ、そこには時代背景や人々の生き方が描かれています。今回は名作のミュージカル映画から、華麗な歌やダンスの向こう側にある社会の背景や普遍的なメッセージを読み解いていきます。
9月19日(土) 13:30~16:00 生涯学習センター 視聴覚室		
第 3 回	ウェールズの未来世代法と日本 早稲田大学法学学術院教授 中村 民雄	2015年にイギリスのウェールズは「未来世代幸福法」を制定しました。ウェールズの公的機関に対して、ウェールズの未来目標すべてを調和的にかなえるように、活動することを求める法です。この法の実施を監督する独立の未来世代コミッショナーもおいています。法の立法経緯・成果、日本での応用可能性をお話しします。
10月3日(土) 13:30~16:00 生涯学習センター 視聴覚室		
第 4 回	縄文時代後・晩期の文化と社会 一埼玉県を中心にー 早稲田大学名誉教授 山梨県立考古博物館館長 高橋 龍三郎	縄文時代中期終末から後期・晩期にかけて、東日本を中心に大きな社会変動に見舞われた。宗教や儀礼、先祖祭祀などを始め、集団の居住や組織形態、親族構造や婚姻システムなどの社会基盤が大きく変動した。その実態を考古学的に跡付け、大変動の理由を検討する。
10月17日(土) 13:30~16:00 生涯学習センター 視聴覚室		
第 5 回	世界一周とその先の物語 ～幸せはまわり道しながらやってくる～ 東京大学大学院教育学研究科 修士課程・常笑プロジェクト代表 關 秀隆	世界一周という夢を追う中で経験した葛藤や挫折、そして旅先での出会いを通して見えてきた人生の豊かさについてお話しします。「行動力は鍛えられる」「一人では無理」「幸せはまわり道しながらやってくる」。世界一周のその先でたどり着いたのは、“何者かになること”ではなく、自分の人生の主人公として生きるということでした。
11月7日(土) 13:30~16:00 生涯学習センター 視聴覚室		
第 6 回	腸内細菌を知って効果的な健康管理に 結びつける 元 東京農業大学生命科学部 分子微生物学科 教授・薬学博士・獣医師 野本 康二	本講演では、腸内フローラが我々の健康に及ぼす作用を、これを解明するための最新の科学技術とともにご紹介するとともに、「健康食品」としてのプロバイオティクス（我々の健康に有益な働きをする生きた微生物：主に乳酸菌やビフィズス菌）の有効性とその作用メカニズム、などを最新の科学的根拠に基づいて説明します。
11月21日(土) 13:30~16:00 生涯学習センター 視聴覚室		
	閉講式 講義終了後	